

松嶋夜話 卷之下 65

〔原文〕厥后今年今秋不意氣仙遊行

〔訓読〕厥后今年今秋、意（おも）はざりて、氣仙に游行す

〔原文〕亦受某山五六所戒請

〔訓読〕亦某の山五六所の戒請を受けて

〔原文〕賸得箇三千零三十一人戒子矣

〔訓読〕箇の三千零三十一人の戒子を賸得す

〔原文〕因添之前數

〔訓読〕因りて之を前數に添えて

〔原文〕則前后一萬三千二百十六人也

〔訓読〕則ち前后一萬三千二百十六人なり

〔原文〕人頭未曾不夥矣

〔訓読〕人頭未だ曾て夥からざる

〔原文〕或言洗手垢除

〔訓読〕或るひと言ふ、手を洗えば手垢除くと

〔原文〕余日夫豈然乎

〔訓読〕余曰く、夫れ豈然らんや

〔原文〕衣與垢何在

〔訓読〕衣と垢何にか在る

〔原文〕乞著隻眼矣

〔訓読〕隻眼を著けよと乞ふ

〔原文〕將又余少時善病矣

〔訓読〕將た又た余少き時、善く病す

〔原文〕全欠行脚事

〔訓読〕全く行脚の事を欠く

〔原文〕以故不識天下叢林善知識之面目

〔訓読〕故を以て天下の叢林善知識の面目を識らず

〔原文〕惟昔日元祿初年出于洛而在學地日揭於洛

〔訓読〕惟だ昔日元祿の初年、洛を出でて學地に在りし日、洛を掲つて

〔原文〕才親近盤珪於龍門高泉於佛國獨照於義山月潭於含玉樓雲於御室耳

〔訓読〕

※この文訓読できません

※龍門寺…盤珪国師（1622年から1693年）は網干の浜田郷に生まれ、17歳のとき赤穂随鷗寺の雲甫和尚について出家し、寛文12年（1672年）妙心寺218世住持となり、元禄3年（1690年）仏智弘濟禅師の号を賜与された。元禄6年（1693年）72歳で示寂し、元文5年（1740年）に大法正眼国師の号を特諡された。

※高泉…江戸時代前期に來日した中国・明出身の高僧であり、黄檗宗の発展に尽力した人物です。

「佛國」は、彼が開山として創建し、現在も京都府京都市伏見区に位置する寺院（仏国寺）を指します

〔原文〕眞無出豁之瞎禿子也

〔訓読〕眞に豁を出る無しの瞎禿子なり

※無出豁…没出豁のこと？―没出息。《水滸傳》第二二回…「今日宋江不才，做出一件没出豁の事來。」《初刻拍案驚奇》卷二二…「誰知天不幫襯，有官無祿？並不會犯著一個對頭，並不會做著一件事體，都是命裡所招，下梢頭弄得沒出豁，比比更為可笑。」2 無法發洩或解決。

〔原文〕我於世有何顔也

〔訓読〕我世において何の顔有らんや

〔原文〕今復望從心老病老衰

〔訓読〕今復從心を望みて、老病、老衰す

〔原文〕形悴骨露

〔訓読〕形悴（やつ）れて、骨露はる

〔原文〕所謂當老而合歇意之時

〔訓読〕所謂老いて合に意を歇すむべき時に當りて

〔原文〕叨叨怛怛

〔訓読〕叨叨怛怛

〔原文〕手忙脚亂

〔訓読〕手忙しく、脚亂る

〔原文〕是何所爲矣

〔訓読〕は何の爲す所や

〔原文〕恁麼華費日黃子

〔訓読〕

※この文訓読できません。華費は動詞？日黄子は？

※恁麼……（多く「の」を伴って連体詞的に用いて）疑問を表す。どのよう。いかよう。

「天地と我と―の交渉がある」へ漱石・吾輩は猫である。2（「に」を伴い副詞的に用いて）指示を表す。このよう。かくのごとく。「動著は―にあらざるなり」へ正法眼蔵・仏性へ

〔原文〕奚時鬻理休糧方

〔訓読〕奚れの時か休糧の方を鬻理せん

※鬻理……よくわかりません。多分動詞

※休糧方……よくわかりません。多分名詞